

(素案)

令和元年 月 日

薩摩川内市長 岩 切 秀 雄 殿

薩摩川内市自治総合審議会
会 長 今 別 府 哲 矢

第 2 次 薩摩川内市総合計画後期基本計画（素案）に対する意見について
（答 申）

令和元年 10 月 8 日に諮問されました第 2 次 薩摩川内市総合計画後期基本計画（素案）について、慎重に審議した結果、別紙のとおり答申します。

なお、審議会として、総合計画の基本理念である「安全・安心」、「活力」、「共生」、「行財政」を柱とした持続可能な魅力あるまちづくりの実現へ向けて努力されることを要請します。

(別紙)

政策Ⅰ 【健康・福祉】健やかに生き生きと暮らせるまちづくり

- ・ 健康づくりに関する施策は働く世代にも意識してほしい施策であり、継続的に取り組まれない。
- ・ 課題は多いと思うが、甌島の医療体制の確保に向けて必要な施策に今後も取り組まれない。
- ・ 事業者において育休や産休などを取りやすい環境づくりを行うことが必要であり、事業者への意識の醸成を図る施策に引き続き取り組まれない。
- ・ 人口減少対策がクローズアップされているが、子どもが増えさえすればよいのではなく、「子どもを育てていく」「命を守っていく」という視点が重要であり、SDGsにもつながるものであるため、より一層充実した取組とされたい。
- ・ 認知症対策の重要性が高まっており、また、本人だけでなく、家族への支援も必要である。今後も必要な施策に取り組まれない。
- ・ 障害の内容も各児童・生徒により異なるため、保護者などが相談できる体制の更なる充実に努められたい。

政策Ⅱ 【生活環境】快適で魅力的な住み続けたいまちづくり

- ・ 自主防災組織の訓練実施率が低い状況であるため、実態に合った取組を行い、更に効果を上げていけるような取組を行うことで、地域防災力の向上に取り組まれない。
- ・ 災害時においては、高齢者や障害者も安心して避難できるように更に取り組まれない。
- ・ 地球温暖化対策については、世界的な行動が求められ、日本も厳しい目で注目されている。まずは、丁寧な周知で、市民全体の意識改革に努められたい。
- ・ プラスチックごみ問題が注目され始めており、ごみの減量につながる取組を検討されたい。
- ・ 水道整備については、市民の間で不公平感が出ないように取り組むとともに、市民が相談しやすい仕組みを整えられたい。

政策Ⅲ 【産業振興】地域の豊かな個性で活力を生み出すまちづくり

- ・ 農地の管理については適切な指導を行うとともに、耕作放棄地についても、集積を促すような施策に取り組まれない。
- ・ 農林水産業においても新たな取組が重要である。引き続き農林水産業の振興に積極的に取り組まれない。
- ・ 後継者がいないことによる廃業が更に進んでいくことが予想される。事業継承などの支援により、市内に事業所を残すことで、働く場の確保につなげ

られたい。

- ・ 人手不足が深刻であり、雇用対策が重要である。魅力的な企業を増やす施策や地元企業への就職を促進する施策に引き続き取り組まれたい。
- ・ 企業誘致の取組も重要であるが、併せて、地場産業育成に積極的に取り組まれたい。
- ・ シティセールスの推進には、受入れ体制の充実が不可欠である。情報発信や施設整備も含め、市民一体となって推進されたい。

政策Ⅳ 【社会基盤】安全性と利便性の質を高めるまちづくり

- ・ 若者や子育て世代にとって魅力のあるまちづくりや中心市街地の活性化を図られたい。
- ・ 高齢化が進展し、免許返納者の増加が想定される。そのため、高齢者の移動手段を確保する施策の重要性はますます高まっており、市民にとって利用しやすい公共交通ネットワークの整備に今後も取り組まれたい。
- ・ 災害時における通信機能の確保や災害情報へのスムーズなアクセスが重要である。「通信手段の確保」につながる取組を、引き続き推進されたい。

政策Ⅴ 【教育文化】次世代を担う人と文化を育むまちづくり

- ・ 思春期から命に関する教育の必要性が高まってきており、命の大切さといった点を重視するような取組を検討されたい。
- ・ 教育現場におけるICTの活用は重要であるが、その効果のみならず、副作用にも十分配慮した対策を取られたい。
- ・ 小中学生の不登校や問題行動に対し、今後もしっかりと対応いただくとともに、他の児童・生徒への影響も考慮した対策を講じられたい。
- ・ 子どもたちへの伝統文化の継承のために、引き続き取組を推進されたい。
- ・ 健常者と障害者を分けるのではなく、市民誰もがスポーツに参加しやすい取組を展開されたい。

政策Ⅵ 【地域経営】市民みんなで考え、行動するまちづくり

- ・ 若い世代の方もゴールド集落やその周辺地域に住みたくなるような施策についても検討されたい。
- ・ 自治会未加入者が一定程度存在しており、この傾向が続けば防犯対策や防災対策への影響も大きくなる。未加入者対策に引き続き、取り組まれたい。
- ・ 65歳以上の割合を基にゴールド集落の設定を行っているが、長寿社会となっている今、「高齢者」の考え方を更新する時期に来ていると考えるので、検討されたい。
- ・ ゴールド集落への支援は、補助金による支援からバスやごみ対策などへシフトが必要であり、地区コミュニティ協議会の意見を踏まえ検討されたい。
- ・ 各種セミナーや講座に参加してみると、女性参加者の数が圧倒的に多い。

特に、働く女性の方ほど熱心である。男女ともに参加するよう、市としても積極的に取り組まれない。

- ・ 特に転入者に対し、市政に関する情報や定住支援制度に関する情報などを、積極的に発信されたい。
- ・ 市民の声がどの程度市政に反映されているか、分かりづらいという意見を聞いたことがある。逆に、市民側は積極的に市政に関する情報を収集していく姿勢も必要だと考えている。行政には市民がより自発的になるような取組を進められたい。

全体的・横断的事項

- ・ 「専門用語を分かりやすく言い換える」「関係団体の可能な限りの明記」など、市民から見て分かりやすい表現に努められたい。
- ・ 市民アンケートは市民の声を把握するために重要な取組であるため、今後も改善を行いながら、適切なアンケートの実施に努められたい。

薩摩川内市自治総合審議会 (R1.11.5時点)

会 長	今別府 哲矢	社会福祉法人薩摩川内市社会福祉協議会	会長
副会長	荒木 貞夫	川内商工会議所	副会頭
委 員	田中 博	事業協同組合薩摩川内市企業連携協議会	代表理事
	有馬 一吉	北さつま農業協同組合	代表理事常務
	本 一春	甌島漁業協同組合	前代表理事組合長
	三本 伴子	薩摩川内市教育委員会	教育委員
	樗木 孝治	薩摩川内市文化協会	会計
	中川 一朗	特定非営利活動法人薩摩川内市体育協会	副会長
	緒方 太一	鹿児島信用金庫川内支店	支店長
	井龍 大	株式会社薩摩川内市観光物産協会	代表取締役社長
	土器手 正之	公益社団法人川内青年会議所	理事長
	赤崎 弘熙	隈之城地区コミュニティ協議会	会長
	中野 重洋	鹿島地区コミュニティ協議会	会長
	橋口 秀仁	鹿児島県北薩地域振興局	局長
	大堀 明人	川内公共職業安定所	所長
	影浦 攻	鹿児島純心女子大学	副学長・教授
	犬井 美香	薩摩川内市女性チャレンジ委員会	委員
	井上 隆	公募委員	
	下鶴瀬 克己	公募委員	
	山崎 和英	公募委員	